

# すこやか通信 7月号

## 歯の治療に行っていますか？

5月下旬に歯科検診がありました。青色のお知らせをもらった人はもう治療を始めているでしょうか。青色の紙をもらった人は次のようなことにあてはまった人です。特にむし歯は自然に治ることはなく、進行してしまいます。夏休みなどを使って早めに治療を終えるようにしましょう。

- むし歯…ミュータンス菌が酸を作り歯を溶かしている状態です。
- 歯肉炎…みがき残しによって、歯ぐきが腫れたり出血している状態です。
- 要注意乳歯…子どもの歯（乳歯）がぬけていないのに大人の歯（永久歯）が生えてきている状態です。
- かみ合わせ…歯並びについて一度歯科医に相談するとよい状態です。
- 歯石…歯みがきでは落とせない汚れが付いている状態です。
- エナメル質形成不全…むし歯になりやすい状態です。

## 熱中症に気をつけよう

暑い日が増えてきました。みなさんはWBGT（暑さ指数）という言葉を知っていますか？WBGTは、熱中症のなりやすさを示すもので、気温や湿度、ふく射熱（日射しを浴びたときに受ける熱や、地面、建物、人などから出てくる熱）、風によって決まります。このWBGTは「環境省熱中症予防サイト」で確認することができます。気温と同じ単位℃を使いますが、気温とは異なるものです。

WBGT(暑さ指数)	
31℃～	危険
28℃～31℃	★ 厳重警戒
25℃～28℃	警戒
21℃～25℃	注意
～21℃	ほぼ安全

★ 厳重警戒を超えると、熱中症になる人が急激に増えます。

## 熱中症の症状を覚えておきましょう



【重症度Ⅰ度（軽症）】手足のしびれ、めまい・たちくらみ。こむらえりなど→涼しい場所に避難、体を冷やして水分補給。



【重症度Ⅱ度（中等症）】吐き気がする、頭痛、だるい、意識がおかしいなど→すみやかに医療機関を受診。



【重症度Ⅲ度（重症）】意識がない、返事をしない、けいれん、まっすぐ歩けない、体が熱いなど→救急車を呼ぶ。

## 保護者の皆様へ

暑さが厳しくなってきました。午前中で水筒の中がからになってしまいう児童が見られます。お子様が元気に学校生活を送れるよう多めに水分をご準備ください。

また、歯科検診から1か月が経ちました。お子様の受診はお済みでしょうか。受診後は「お知らせ」の紙を学校に提出することになっています。受診の必要だった方でまだお知らせの紙を提出されていない方には、もう一度保護者会でお渡します。夏休みを利用して早めに受診いただきますようお願いいたします。